

第23回東出ふるさと展 安孫子庄の親郷

列品解説書



令和2年
9月19日(土)～10月18日(日)

【開館時間】 10:00～17:00 (入館は16:30)
 【休館日】 月・火曜日(祝日開館)、9月23日(水)
 【場 所】 愛荘町立歴史文化博物館 エントランスロビー
 【主 催】 東出自治会 愛荘町立歴史文化博物館

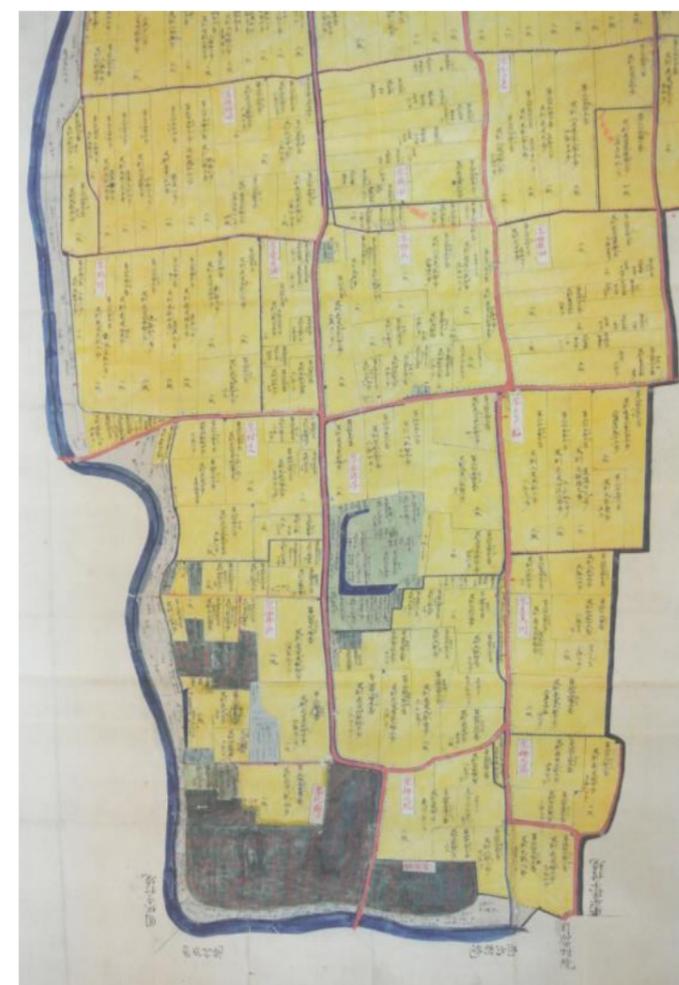
はじめに

中・近世の安孫子庄は、秦川郷とほぼ重複する地域です。集落でいえば、斧磨村、松尾寺村、上蚊野村、岩倉村、竹原谷村(竹原)、常安寺村、円城寺村、目加田村、南安孫子村(安孫子)、西出村(西出・深草)、東出村の11ヶ村にあたります。

東出村は中世末から近世にかけて、北安孫子村とも呼ばれていました。これは、安孫子庄の領主(地頭)であった安孫子氏の居館である安孫子北城が置かれていたからと考えられます。

また、安孫子氏が堅井之大宮を氏神として祀っていたことから、安孫子城の所在する東出が郷社である堅井之大宮の宮世話を任されたと考えられています。さらに秦川山を領有していた安孫子氏は、秦川山いりあいの入会の管理についても東出村に任せたことから、安孫子庄の「本郷」、または「親郷」と称されています。

この度の展示では、安孫子庄の中で東出村がいかに中心的な役割を果たしていたのかを資料を通して紹介します。



1 東出地券取調総絵図

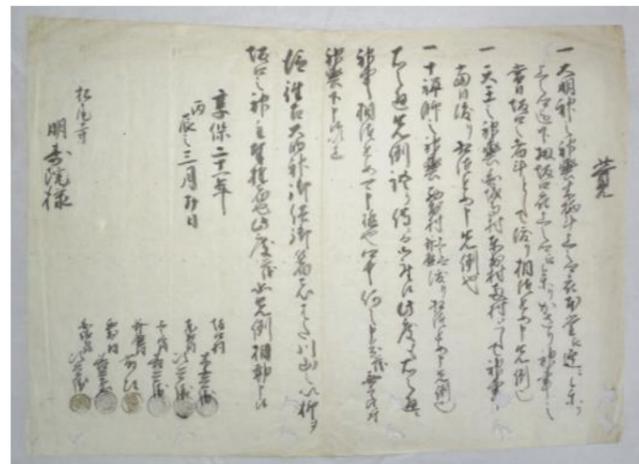
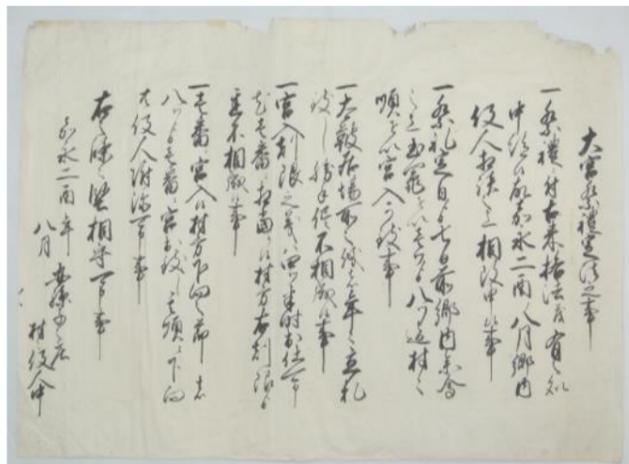
当時の田畠を詳細に記す、東出村の「地券取調総絵図」(明治6年)および「字限図」には、「字安孫子」の名称が明記されており、字中央に見える藪地には、コの字型の堀が描かれています。東出交差点の北東側に位置する中世の遺跡で、安孫子城の跡であると伝えられています。南安孫子村(現在の安孫子)の城跡を安孫子南城と称するのに対して、安孫子北城と呼ばれています。江戸初期には東出村を北安孫子村と呼ぶ書物も在り、『淡海小間攪』には東安孫子村とも呼ばれています。往古、安孫子日向守の屋敷であったと記され、そのため、東出村は安孫子庄の中でも中心的な位置付けを持ち、安孫子庄の親郷と称されました。

また、安孫子氏は堅井之大宮を氏神として崇拝しており、このため安孫子城のあった東出村は堅井之大宮の祭礼において絶対的な権限を持たされていました。祭礼を差配する「宮世話」がこれで、東出村にしか許されない役でした。祭礼が間近になると大宮の二箇所にに幟を立てるのも東出村であり、祭礼当日の行事の差配や宮入りする山車の場所を決めるのも当村であったといえます。

大宮祭禮定法之事は秦川郷8ヶ村による祭礼の細かな取り決めを記したのですが、署名の筆頭に東出村が記されていることからわかるように、祭礼においてその中心的位置を担っていたのです。

現在、例大祭は庄内九ヶ村が山車を曳き廻し、宮入りで最高潮を迎えるのですが、享保21年（1736）の「覚」によると、当時は神輿の渡御が行われています。

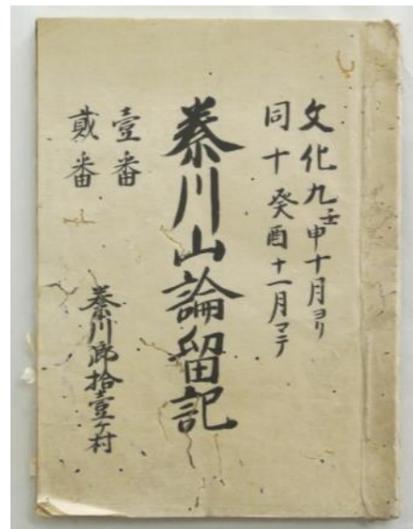
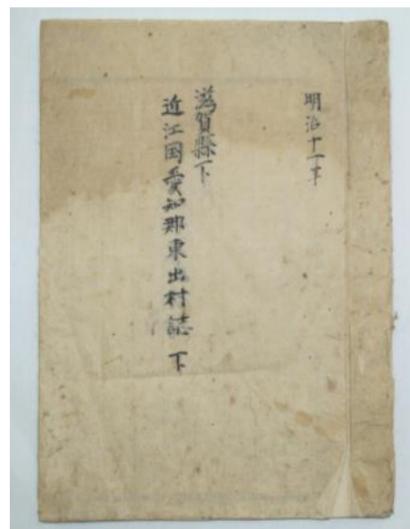
大明神之神輿は坂口村(松尾寺村の内)によって渡御、天王之神輿は円城寺村・東出村によって渡御、十禅師之神輿は西出村・斧磨村・上之郷村(松尾寺村の内)によって渡御すると決められており、東出村を含む特定の村に限られているのです。



7 大宮祭禮定法之事

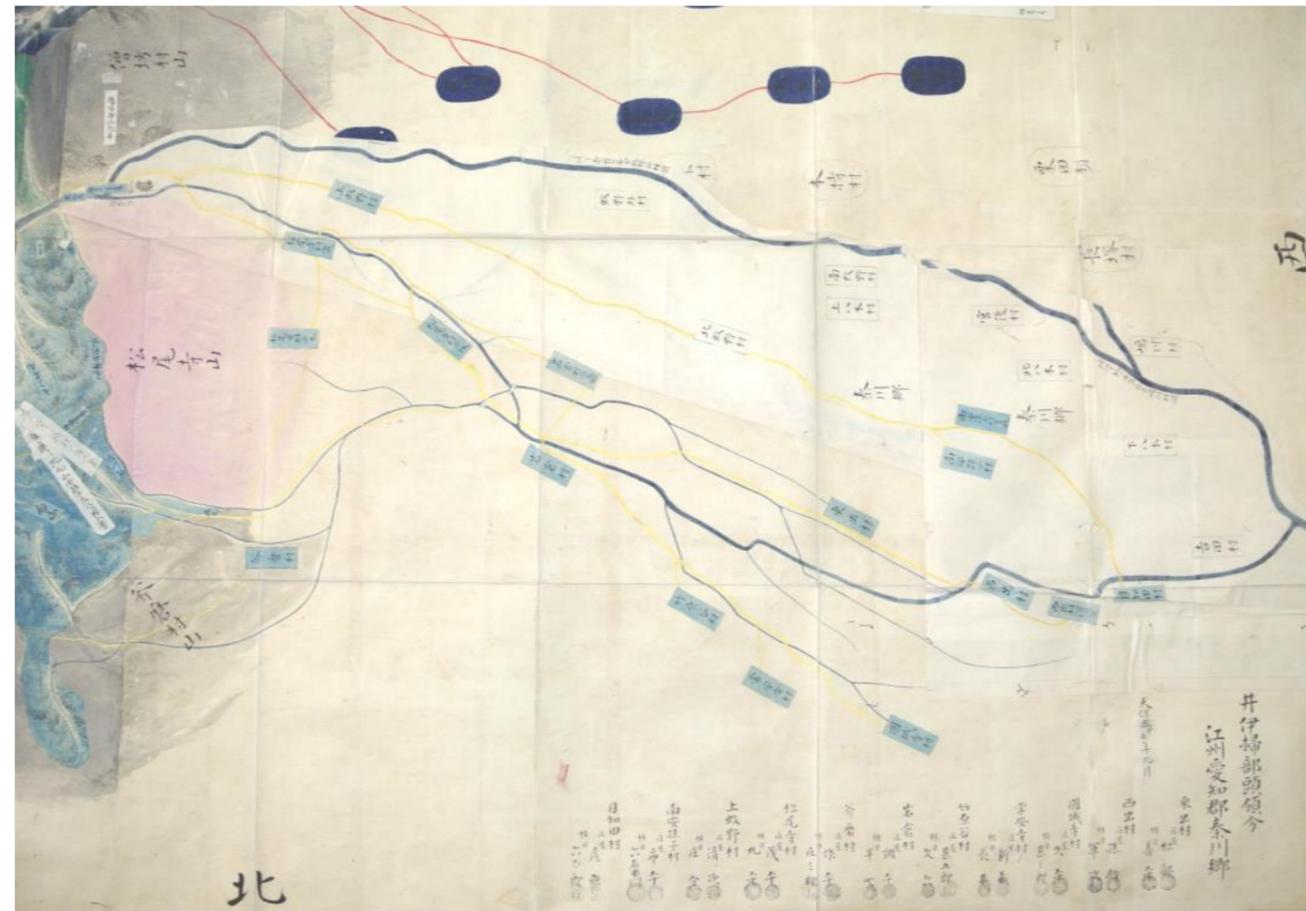
6 堅井之大宮祭礼の「覚」

「滋賀縣下近江国愛知郡東出村誌」は滋賀縣令籠手田安定が明治11年、県下町村に町村誌の提出をさせたときの冊誌で、「山」の記述中に秦川山の管理は本村（東出村）が行うことを記しています。秦川山も安孫子庄内であり、安孫子領主が支配しました。そのため、山年貢は安孫子城お膝元の東出村が管理していました。これは庄内10ヶ村（南安孫子村、上蚊野村、目加田村を含む）の山年貢を東出村がまとめて上納している資料（「秦川山御年貢米指引帳」文政九年）に見られます。さらに、争論における詳細記録「秦川山論留記」の保持や、争論絵図の秦川郷の筆頭に東出村が署名していること等があげられます。これらの事からも親郷としての東出村の位置が見出せます。



4 滋賀縣下近江国愛知郡東出村誌 下

9 秦川山論留記



8 秦川山論絵図

出品目録

番号	出品名	年代	員数	所蔵
1	東出村地券取調総絵図	明治6年	1点	愛荘町
2	東出村例大祭写真	平成2年	3点	堅井之大宮文書
3	東出村字限図	—	1点	東出共有文書
4	「滋賀縣下近江国愛知郡東出村誌 下」	明治11年	1点	東出共有文書
5	堅井之大宮例大祭 幟	—	1点	堅井之大宮文書
6	堅井之大宮祭礼の「覚」	享保21年	1点	堅井之大宮
7	「大宮祭礼定法之事」	嘉永2年	1点	東出共有文書
8	秦川山論山絵図	文政8年	1点	東出共有文書
9	「秦川山論留記」	文化9～文政10年	18点	東出共有文書
10	「秦川山御年貢米指引帳」	文政年間	1点	東出共有文書